

TOPICS

鈴鹿安全運転講習

自動車整備科・一級自動車研究開発学科の1年生を対象とした安全運転講習を実施しました。新型コロナウイルス感染症対策の為、11月と12月に2つのグループに分け三重県鈴鹿サーキットの「交通教育センター」にて行いました。Hondaの社内資格であるセーフティコーディネーター、二輪のライディングアドバイザーとして技術と心構えの両面からの確かなアドバイスが出来るように、しっかりと学びます。実際に安全運転をするための基礎技術を勉強することはもちろん、濡れた路面で急ブレーキを踏み、ABSが効いたクルマがどのように制御できるか、普段のバイク・クルマの運転では体験できないものを体験させていただきました。クルマやバイクは運転する楽しさ、移動できる喜びを提供するものです。誤った使い方をすると、自分も周囲も、不幸になる危険性も秘めています。身につけた技術をしっかりと定着させ、安全運転に努めていきましょう。



オートバイ部

京都へツーリングに行きました

10月31日(土)、オートバイ部の学生と先生で、道の駅 美山ふれあいの里(京都)へツーリングに行きました。事前に安全に活動できるようしっかりとミーティングを行い、安全運転の誓いや当日の走行ルートを確認。大阪府四条畷市から京都府南丹市まで、当日は天候にも恵まれ、秋の紅葉シーズンとも重なり、非常に楽しいツーリングになりました。

このツーリングに合わせ、放課後に個々の運転技術向上を目指し、練習していた部員たち。コロナ渦で活動することが難しい中、部員の安全運転技術に磨きをかけることができ、同時に仲間との大切な思い出づくりをすることができました。



オフロード同好会

「ハッピーファンエンデューロレース」参戦

11月15日(日)にプラザ阪下で行われた「ハッピーファンエンデューロレース」にオフロード同好会の学生3名が出場しました。前車のコース間違えにより順位を落としたものの、追い上げを見せた一級自動車研究開発学科2年の藤原さんが40分耐久プロダクションAクラスにて3位入賞、一級自動車研究開発学科2年の都留さんも初のレース参戦で18台中9位と健闘しました。

今期は校内での活動も積極的には出来ず、1戦のみのレース参戦となりましたが、日々のメンテナンス、走行後の洗車など全ての作業をルーティン化し効率的に行っていました。

一級自動車研究開発学科4年の高屋さんは「後輩たちの成長を感じることが出来たレースでした。同好会活動を通じて計画することの大切さとコミュニケーションの重要性を学べました。これからも仲間と切磋琢磨して色々なことにチャレンジしてほしいと思います。」と話してくれました。



H-TEC R&M同好会

「N-ONE OWNER'S CUP」参戦

11月15日(日)、富士スピードウェイにて行われたN-ONE OWNER'S CUPのRd.14に参戦しました。非常に段取りよく、先手先手で対応することが出来た結果、慌てることもなくすべて予定通りにこなすことが出来ました。レーススケジュールに右往左往した昨年の姿はそこにはなく、昨年の反省点が今年初参加のメンバーにも共有され、一人ひとりが役割をキチンとこなした結果であり、成長の証です。レースではセーフティカーも出動する荒れた展開の中、H-TEC R&Mのマシンは予選・決勝共にトラブルフリーで完走し、決勝では4台オーバーテイク!!結果、54台出走した中で29位と、去年を上回る成績を収めることができました。

同じレースに参加した関東校のチームともドライバー同士、学生同士で積極的に意見交換したり、技術的サポートを頂いているHCM Sports Garageの皆さんにアドバイスや激励を頂いたり、参戦できたのは1回のみでしたが、短期集中の内容の濃い今期の活動となりました。

この同好会を一から立ち上げ活動した一級自動車研究開発学科4年の里村さんは「コロナの影響もあり、作業時間が限られ、セッティングを煮詰めることが出来なかったものの、短期集中で放課後の時間を誰よりも有意義に使えたと思っている。授業だけでは得られない知識・技術が放課後には溢れていることを実感した。」と語ってくれました。



自動車研究開発科3年生

フォーミュラカーの製作

13期生の車両コンセプトは「チーターのように軽快にコーナーを曲がり、鋭い加速をするマシン」です。単気筒エンジン、アルミフレーム、ニッケル水素電池を採用することで軽量化を図りつつ、走行時の重量物であるエンジンとドライバーの距離を限界まで近づけ低慣性を実現しました。

チームリーダーを務めた木村さんは「最初の2年間は日程遅れが度々あり、チーム運営がうまくいってなかったが、3年生になり適材適所で作業を振り分けたり、進捗確認を行い、どろりカバリーをするのか話し合うことで、予定通り活動を推し進めることが出来た。最後には十分なテスト走行を重ねることができ、しっかりと車両を仕上げることに繋がったと感じている。」と3年間を振り返ります。

それぞれの担当領域で想いを盛り込んで製作した車両。サスペンションを担当した中井さんは「車両の乗り方を変更できる調整機構」を、ペダル・ステアリング・シフトという人の操作に関わる機能開発を担当した北森さんは「ドライバー優先の設計」と、それぞれの拘りがカタチになっています。

今年はコロナ渦で学生フォーミュラ日本大会は中止され、製作活動も大きく制限されることになりました。厳しい環境の中、時には遅くまで仲間や先生と議論し、みんなで創り上げる中で、技術はもちろんのこと、人の命を預かっている大切さを学んだり、精神的に成長したりと多くのことを学ぶことが出来ました。



寮行事

大掃除とビンゴ大会を実施

11月7日(土)、くみの木寮の大掃除を寮生で実施しました。エントランスや裏庭など、力を合わせてみんなで大掃除。日頃、手の届かないところまでキレイになりました。3S(整理・整頓・清掃)は良いモノづくり、良いサービスの基本です。

そして12月20日(日)には、寮の指導生と指導生候補の1年生が企画したビンゴ大会を実施しました。今回は、オンライン授業で使っているiPadを活用し、各部屋の寮生がオンラインでのビンゴ大会に参加。景品には、BOXティッシュやカップ麺、お菓子等が並ぶ中、数万円する工具セットや任天堂Switchといった高額商品も。工具セットが当たった学生は、「自分や仲間のバイクや車、自転車の修理をみんなで一緒にしたい」と、非常に喜んでくれました。

今年はコロナの影響で餅つき大会や金剛山登山といった寮行事が予定通り開催できないことが多く、なかなか親睦を深めることができませんでした。しかし、このような環境でも何かできないかと知恵を出し合い、イベントを実施。多くの寮生が参加して楽しめたと共に、企画した学生たちの成長にも繋がりました。



2020年度 教職員人事異動のご案内

新任

Table with 3 columns: Date, Name, and Position. Lists new staff members starting in April, June, and December.

異動・退職

Table with 3 columns: Date, Name, and Position. Lists staff members moving or retiring in April, July, and January.

※()は異動前所属名称